



# JR連合 NEWS

JRに集う  
すべての仲間の  
JR連合への  
総結集を!!

2021 年度

No. 61

2021年11月30日

日本鉄道労働組合連合会

## JR九州連合「第31回定期大会」

# 将来に希望が持てるJR九州グループの創造をめざす

JR九州グループ労働組合連合会（JR九州連合）は、11月26日、北九州市「JR九州ステーションホテル小倉」で、第31回定期大会を開催し、加盟組合・労使が一丸となってこの難局を乗り越え、将来に希望が持てるJR九州グループの創造に取り組むことを確認した。



代表挨拶を行う芦原会長

冒頭、挨拶に立った芦原秀己会長（JR連合副会長・JR九州労組中央執行委員長）は、コロナ禍の中、日夜業務に精励している組合員に敬意を表した上で、JR九州連合やJR連合が取り組んできた内容を振り返り、今後の一層の協力・連携を要請するとともに、①安全の確立、②組織の強化・拡大、③年末手当交渉と2022春闘について所信を述べた。

また、JR連合からは政所大祐事務局長と鎗光俊勝労働政策部長が出席し、代表して政所事務局長が、喫緊の政策課題に関する取り組みや2022春闘に対する考え方等について挨拶を行った。



総括答弁を行う吉田事務局長

議事では、幹事会から提案された議案に対して代議員から、JR九州連合としての政治への関わり方やグループ相互間での支援の取り組みについて発言があり、吉田春菜事務局長（JR九州労組中央執行委員）の総括答弁を経て、全議案が満場一致で採択された。その後、新役員や大会宣言が採択され、芦原会長の「団結がんばろう」で閉会した。

また、大会前段では、JR産業の持続的な発展に向けて、働くすべての仲間が将来に亘り安心して働けることができる就労環境を構築すべく、JR連合の新提言「将来を見据えたJR産業のあり方と私たちの働き方」について学習会を行い、加盟組合一丸となってその具現化に向け、課題認識を持って取り組んでいくことを確認した。



JR連合鎗光部長による学習会